

車種別取付資料

平成15年 7月 1日 作成
平成23年 4月15日 更新

BOX No.136804

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

車両情報	ホンダ CR-V	RD#系	1 / 2 ページ	ES-89Light	Type	N.L.
	平成15年9月～				Opt.	

❗ 注意事項：イモビライザーについて

- ・エンジンイモビライザーシステムが、全車標準装着されています。
- ・エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、H-1イモビ対応ユニット（FOH01）を使用します。
- ・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

❗ 運転席側カバー類の外し方

- ①アンダーカバーを外す。（ノブを左側に90度回してから、下側へ引っ張り手前のフックを外す）
- ②ロアカバーを外す。（右側の小物入れ内側にネジ1本、左側のヒューズBOXカバー内側にネジ1本）
- ③コラムカバーを外す。（下側からネジ3本）

コラムカバー内下側
キーシリンダ直付け

専用ハーネス

H116

VH116

❗ ドアロック／アンロックの取り付けについては、2 / 2 ページを参照してください。

❗ 注意事項：カーアラーム（ディーラーオプション）付き車は、別売のダイオードハーネス（EP101）の取り付けが必須になります。取り付けが出来ない機種がありますので、取り付け方法とあわせて2 / 2 ページを参照してください。なお、平成16年9月以降のセキュリティアラーム（メーカーオプション）付き車は、エンジンスターターの取り付けはできません。

❗ グローブBOXを外した内側に
C/Uがあります。

A/T車設定が必要な行のみのみ

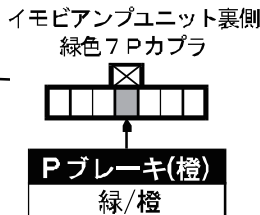
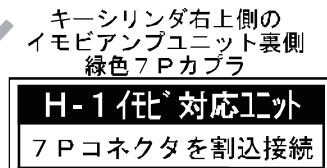
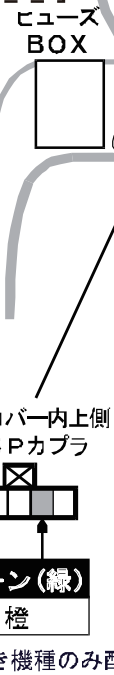
（A/T車設定作業について）
配線・受信機取り付け終了後、
下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のキースイッチをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のA/TシフトレバーをRレンジに動かし、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）Pレンジに戻す。
- ④車両のキースイッチをOFFにしてキーを抜く。
- ⑤設定完了。

※設定作業をしないと、エンジンスターターでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2緑色)
車両配線色

止めネジ等
ナット ビス 隠れビス



❗ バックドアの開閉検出について

バックドアの開閉検出を行う場合は、ドア検出ユニット（別売）を使用して、車両のテールゲートドアスイッチ、またはカーゴルームランプスイッチへ、ドア検出配線を行ってください。

❗ 機能付き機種のみ配線

❗ バックドア以外の、全ドアの開閉を検出。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号は (L) 表示です。

BOX No.136804

車両情報

ホンダ CR-V
平成15年9月～

RD#系

2 / 2 ページ

ES-89Light

Type
Opt.

N.L.

ダイオードハーネスの接続方法

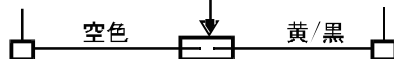
① ディーラーオプションのカーアラーム装着車に、エンジンスターターを取り付けする場合は、ダイオードハーネス (別売) を使用して配線が必要です。(ダイオードハーネスを取り付けせずにカーアラームがセットされた状態で、エンジンスターターで始動すると、警報のホーンが鳴ります。)

① ダイオードハーネスの配線方法

カーアラーム (用品) のハーネスに
テーピングされている2Pカブラ



ダイオードハーネス
(EP101)



受信機CN2の空色
(ギボン付き配線) へ
接続。

カーアラームハーネス内
2Pカブラの黄/黒
(ON信号) へ接続。

① ダイオードハーネスの配線 (空色と黄/黒) は、
接続先を間違わないように注意してください。

① 使用時の注意事項 (カーアラーム装着車)
エンジンスターター使用時は、必ずSTOP
操作でエンジンを停止して、純正キーレスエ
ントリーでアンロック操作してからドアを
開けてください。(純正キーレスでアンロッ
クしてからドアを開けないと、カーアラーム
が作動してホーンが鳴るため)

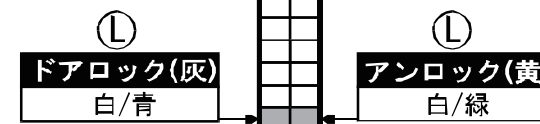
① 注意事項

- ・カーアラーム (ディーラーオプション) 装着車は、下記の
モデルのみです。
- ES-89Pico(ESP11) シリアル: G0131001 以降の製品のみ
- ES-89ProLight II (ESL24) ●Pico950(ESP40)
- ES-89ProLight (生産終了モデル)
- ES-89DualPico (生産終了モデル)
- ・別売のダイオードハーネス (EP101) の取り付けが必須に
なります。左の図を参照して取り付けをしてください。

① 特有の注意事項 (使用できない機能等について)

- ①オートロック機能は、使用できません。…機能が作動しないため。

右手前側中継
灰色22Pカブラ



配線内容(受信機CN2線色)
車両配線色

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、必ずヒューズ（25A）付きの専用ハーネス（VAS対応品）で取り付けをしてください。



❗ 車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VH116がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年（平成18年）6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル（オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル）については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準（新保安基準）に適合しており、全国自動車用品工業会（JAMA）の盗難発生警報装置自主基準（VAS）を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。（以下を確認してください）

①初年度登録が2006年（平成18年）7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗ 該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス（VAS対応品）の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置（機能）を使用する場合、全てのドア（バックドア等も含む）開検知が必要です。

❗ 該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット（別売）が必要になります。

③登録証（全国自動車用品工業会自主基準登録証）は、必ずお客様にお渡しく下さい。

❗ 製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しく下さい。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。